

科目名	臨床検査医学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (臨床検査医学)	選択	10単位
担当教員	◎教授 西澤和久 教授 川杉和夫 教授 鈴木幸一 准教授 咲間妙子 准教授 田嶋明彦 講師 島田智子 講師 関 玲子 講師 押鐘浩之						
課程	博士前期	配当年次	1～2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	<p>【1年次:医学英語】 英語で書かれた教科書、専門書や論文を利用できるようになるため読解力および作文力を身につける。</p> <p>【2年次:特別研究】 臨床検査医学分野の細胞病理検査学講義・演習、臨床病態生理学講義・演習、画像生理情報解析学講義・演習、分子生物学講義・演習で修得した知識や問題意識をもとに、臨床検査医学上の課題に取り組み修士論文を作成する。研究プロセスを一通り経験することにより、臨床検査医学における研究能力を高めるとともに、臨床検査の諸問題を基礎医学的知識と結びつけて議論できる力を養う。</p>						
授業の到達目標	<p>【1年次:医学英語】 ①英語で書かれた医学論文を正確に理解し、日本語に訳すことができる。 ②PubMedによる検索を効果的に利用できる。</p> <p>【2年次:特別研究】 課題とする研究領域における学識を深め、探求することにより、研究テーマを選択し、研究計画書の作成、データの収集・分析を行い、学術的意義の高い論文を作成できる。</p>						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【医学英語】 (鈴木幸一) 医学論文等の読解や英訳、英語によるプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>【特別研究】ある程度のオリジナリティを出すことが可能なので、興味ある課題につき教員と相談する。 ①予備データや文献をもとにディスカッションすることができる。②できるだけ意義の高い研究がまとめられるようになる。</p> <p>【研究テーマ】 (川杉和夫) 血液凝固・線溶系に関する研究</p> <p>(西澤和久) 計算化学およびin vitro実験系を用いて、ウイルス外殻タンパク質による細胞膜融合機構に関する研究</p> <p>(鈴木幸一) 感染や組織傷害による自然免疫能活性化と甲状腺自己免疫疾患の関連。抗酸菌のマクロファージ内寄生と排除機構。その他。</p> <p>(咲間妙子) 睡眠障害の評価方法の改良についての研究</p> <p>(田嶋明彦) 心拍数と酸素消費量の関係の解析</p> <p>(島田智子) 組織細胞検査法を用いた高分化型脂肪肉腫の悪性度評価基準の確立に関する研究</p> <p>(関 玲子) SSCP法とPCR-PHFA法の手法を用いて、消化器系腫瘍の悪性度を規定する遺伝子指標検索という課題の研究</p> <p>(押鐘浩之) ミスフォールディング病の原因として重要なタンパク質の高次構造変化と凝集体形成機構の解析</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	【医学英語】次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。 【特別研究】研究に関する文献について十分に読解すること。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時 指示する。						
参考書	随時 指示する。						
成績評価の方法および基準	口頭試問80%、レポート20%						
その他履修上の注意事項	1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						